

①屋内温水プール				
室名	面積 (㎡)	部屋数	面積 (㎡)	備考
プール、プールサイド			900	メインプール：25m×5コース以上(コース幅2.0m) 幼児用プール：親子連れの利用・幼児向けのすべり台等の設置 多目的プール：小学生から高齢者までで浮き輪利用を想定（例：浮き島、水上アスレチック等（週末等のみの設置も可）） プールサイド：児童・生徒80名が準備体操ができ、待機できるスペース、水深調整材置き場、壁面シャワー
採暖室	15	1	15	プールサイドに面した位置に設置、15名程度の同時利用を想定
器具庫			適宜	ビート板100個、ヘルパー（腕用）20個、ヘルパー（腰用）50個程度、コースロープなどを収納
監視室	10	1	10	プール全体を監視しやすい位置、保管スペースの確保
救護室	15	1	15	プールサイドに面した位置、4名程度の救護者（体調不良者やケガをした人）の同時利用
更衣室	60	2	120	一般利用者用及び学校利用（男子、女子各1室） ロッカー、シャワー室、トイレ、洗面化粧コーナー、水飲み設備を含む
多目的用更衣室	30	1	30	個室を2部屋設ける、1部屋につき2～3名と車椅子が入るスペース、多目的用シャワー室、トイレを含む
観覧室	20	1	20	プールサイドに面したプール全体を見渡せる位置に設置 児童・生徒20名程度が同時に利用できるスペース
②温浴・サウナ施設				
浴室	100	2	200	浴室内に男女各10名の同時利用を想定。主浴槽、シャワーブース、サウナ、水風呂を設置し、主浴槽には変わり風呂（パイプバス、ジェットバス、電気風呂等）の機能も付帯
脱衣所（更衣室）	40	2	80	男女各1室、シャワー、トイレ、ロッカー、洗面化粧コーナー、水飲み設備、ベビーベッドを含む トレーニングルームとマルチスタジオ利用者兼用可
③子育て応援施設（市運営）				
キッズスペース	80	1	80	未就学児を対象とし、安全性を重視した空間設計。床材には消毒可能なウレタン素材等を採用
キッズスペース前室 （フリースペース）	20	1	20	キッズスペースを見渡せる配置等とし、親子で飲食できる空間、ベビーカー置場を設ける
相談室	15	2	30	相談者のプライバシーに配慮した配置
事務室	30	1	30	キッズスペースや人の出入りに常に目が届くようにEV及び階段前等に配置
職員更衣室			16	男女各1室設ける
給湯室	10	1	10	
書庫・倉庫	30	1	30	
クッキングルーム	40	1	40	先生用にアイランドキッチン1台設置、 受講者用の机(ガスレンジやシンクはなし)4台設置
④スタジオ・トレーニング室				
マルチスタジオ①	100	1	100	1室あたり最大20名程度の同時利用を想定、壁の1面にミラーを設置、倉庫を含む
マルチスタジオ②	80	1	80	1室あたり最大10名程度の同時利用を想定、壁の1面にミラーを設置、倉庫を含む
トレーニングルーム	120	1	120	最大30名程度の同時利用を想定、倉庫を含む
⑤音楽スタジオ				
音楽スタジオ	30	1	30	防音扉（二重扉）、最大5名での利用を想定、器具庫を含む
⑥事務室				
施設受付・事業者用事務室	50	1	50	施設受付をエントランスホールに面した位置に設置（打合せスペース含む）
⑦共用部等				
エントランスホール・風除室	150	1	150	利用者用休憩スペース、ベビーカー・車椅子置き場、下足入れを含む
機械室			適宜	熱需給設備、受変電設備、ポンプ設備、プール・温浴施設のろ過設備、非常時用ろ過機等を設置
トイレ1F（プール・温浴以外用）			30	男女トイレ：幼児用便器を親子トイレブース内に各1基、ベビーベッドを各1台設置 多目的トイレ：オストメイト、ユニバーサルベッド設置
トイレ2F			40	男女トイレ：幼児用便器を親子トイレブース内に各1基、ベビーベッドを各1台設置
授乳室	5	2	10	混合水栓洗面器含む
階段・EV、廊下			適宜	

※全体面積については、2,700㎡程度とすること（５％程度の減は許容する。増は上限なし）。各諸室面積は参考基準とし、増減は可とする。

※ただし、③子育て応援施設については、出来る限り表示面積を確保すること（５％程度の増減は許容する。）。

⑧外構等		
駐車場	適宜	乗用車駐車場できるだけ多くを確保、思いやり駐車場3台程度、玄関前ロータリー形式にて大型バス2台のスペースを確保。
駐輪場	適宜	屋根・照明付き（自転車用、バイク用）
植栽帯	適宜	